

●●●●=必ず記入 ○○○○=計画に応じて該当するところを記入

1 当該学年・学期等における探究課題 《 地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々・地域の未来と自分たちの生活 》

2 単元名 『 我が国の伝統 ～伝統文化を体験しよう・ひなまつりウォークに参加しよう』 (全20時間=実施時期:9月~2月)

3 単元のねらい \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と,それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

体験活動や交流を通して,伝統文化を伝える方々の思いや願いについて考える,郷土を愛し,誇りをもって生活していこうとする気持ちを育てるとともに,地域に残る文化を守り引き継いでいくために,今ある課題を見つけ,自分たちにできることに取り組もうとする態度を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け,引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		・伝統文化について知る。 ・伝統文化が受け継がれてきた理由や魅力を考える。	・情報機器や図書資料で情報を集める。 ・ゲストティーチャーを招き,伝統文化体験をする。	・調べたことや体験したことから,分かったことを,グループで交流する。	・伝統文化のよさや受け継がれている理由についてまとめ,発表する。
		・高屋に残る文化を受け継いでいくための課題について考える。	・高屋のひなまつりウォークについて,ゲストティーチャーに話を聞く。	・集めた情報から,自分たちが高屋の文化を受け継いでいくためにできることを考え,実行する。	・ひなまつりウォークの企画に参加し,全校に呼びかけて雛飾りを作る。 ・ひなまつりウォークの宣伝をする。
引き出したい姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)	地域の発展のために,今ある課題を見つけ,解決したいという思いをもつことができる。	○○○○	自分たちに何ができるかを考えることで,主体的に地域に関わろうとすることができる。	地域で活躍されている方を誇りに思い,自分の目標を見つけようとする事ができる。
	やり抜く力 (忍耐と向上心)	○○○○	目的に応じて情報を収集することができる。	友達と協力しながら,集めた情報を比較・分類したり,関連づけたりして,多面的に考察することができる。	○○○○
	まき込む力 (発信と協働)	○○○○	○○○○	○○○○	地域の文化を受け継ぐために,自分の思いを積極的に発信することができる。
仕掛け・工夫	もの	○○○○	伝統文化を体験し,茶道・華道・水墨画や,それに関する道具等に関わり,伝統ある物のよさに触れる。	○○○○	○○○○
	ひと	○○○○	ゲストティーチャーを招き,地域にも伝統文化を継承している人や,新しい文化を創り受け継いでいこうとしている人がいることを知る。	○○○○	○○○○
	しごと(こと)	○○○○	どうして行事を行っているのか考えることで,運営に携わる方々の思いを知る。	○○○○	地域のための仕事があることに気付き,参画することで,地域を大切に思う気持ちをもつことができるようにする。
アウトプットの工夫		伝統文化のよさを体感することをきっかけにして,自分たちも地域に残る伝統文化を守るとともに新しい取り組みにも挑戦し,さらに地域を盛り上げていきたいという思いをもつことができるようにする。地域の行事の準備に参加し宣伝することで,地域を盛り上げることをゴールとする。			

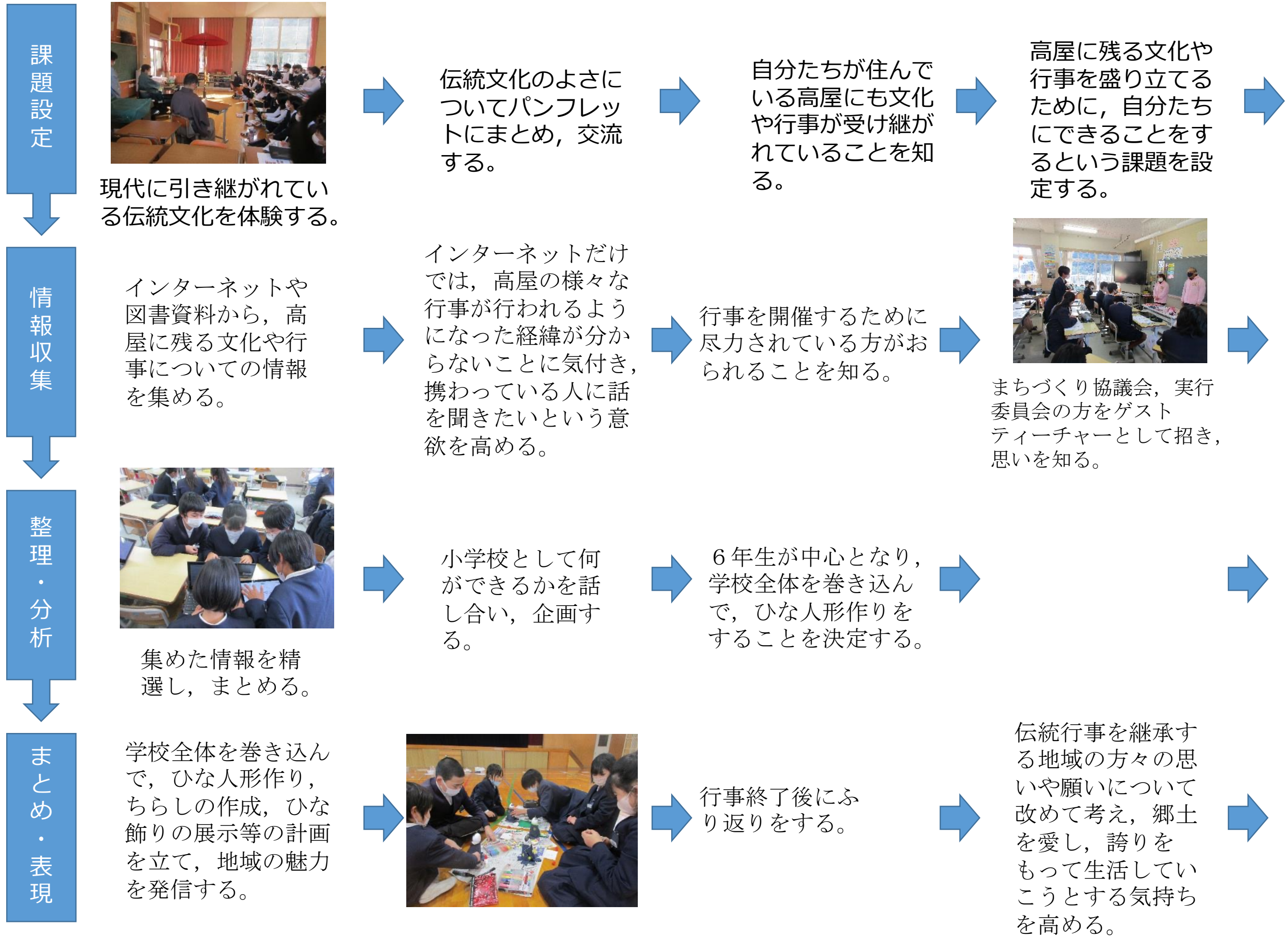
5 他教科・領域,学校行事等との関連

国語科 「狂言 柿山伏」 修学旅行  
 社会科 「今に伝わる室町文化と人々の暮らし」  
 音楽科 「日本や世界の音楽に親しもう」  
 外国語科 「We all live on the Earth」

6 他学年,他校(園)種,外部団体との連携・接続・交流

まちづくり協議会の方と一緒に,ひなまつりウォークの企画・準備を行う。

◆単元のねらい「体験活動や交流を通して，伝統文化を伝える方々の思いや願いについて考える，郷土を愛し，誇りをもって生活していこうとする気持ちを育てるとともに，地域に残る文化を守り引き継いでいくために，今ある課題を見つけ，自分たちにできることに取り組もうとする態度を育てる。



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○3，4年生の総合の内容（ジーンズ）と関連付けた活動をしたり，低学年と高学年の異学年交流をしたりすることができ，全校で取り組むことの意義を感じることができた。  
 ☆年間の見通しをもって，早めに取りかかることができると，企画・準備等の負担も軽減されるので，伝統文化体験を今年（11月）より早めに設定し，2学期から計画的に進めていきたい。